やる気元気根元気

学校教育目標：心豊かでたくましく　心身ともに健やかな鳴鼓っ子の育成

時津町立鳴鼓小学校　学校だより　第１１号

令和４年２月１日　文責：校長　村井　宏之

がんばれ！なづみっ子

長崎県も新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、一月十八日から二月十三日まで「まん延防止等重点措置」が県下全域に適用されています。鳴鼓小学校においても、これまでの基本的な感染防止対策を徹底するとともに、一部制限を強化し感染拡大防止に努めています。職員一同、知恵を絞り子供たちの「安全」と「健やかな育ち」の両立を目指し取り組んでいます。しかし、状況が刻一刻と変わるため、保護者の皆様にはご心配をおかけすることあるかと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

子供たちも我慢の多い学校生活となっていますが、本当に良く頑張っています。今こそ、学校と全家庭が協力し、全ての子供たちのために頑張るときだと思います。よろしくお願いします。

☆ 学校の感染対策 ☆

今、学校がやるべきことは、感染者を出さないことではなく、濃厚接触者を最小限にすることだと考えています。そのために、感染対策を強化した部分を紹介します。

マスクの着用

登校から下校まで、基本的には常時マスク着用としています。濃厚接触者となる基準は、マスクなしで接触した時間、距離が大きく関係します。

学　習

歌唱やリコーダー、鍵盤ハーモニカの演奏等は当面行いません。また、体育の学習においても、密になったり、接触があったりする運動は避けるようにしています。理科室や家庭科室の学習で、向かい合う場合はアクリル板を使っています。

休み時間

休み時間は、サッカーやドッジボールなど運動量があり、子供同士の距離が近くなる遊びはしないようにしています。子供たちは、縄跳びや一輪車、遊具などで工夫して遊んでいます。

給食時間

給食の前後に、子供たちは各自で、自分の机を消毒するようにしました。また、これまでも続けてきた黙食を徹底しています。

子供たちには、今は自分と家族、そして周りのお友達の「命」と「生活」を守るために頑張ろうと伝えています。子供たちにとっては、「自由に遊べない」「思い切り声が出せない」など、ストレスの多い学校生活になっていますが、約束を守り、本当に良く頑張っています。家庭での心と体のサポートをお願いします。

さようなら！ピーちゃん

中庭の鳥小屋で飼っていた烏骨鶏のピーちゃんが死んでしまいました。長く鳴鼓小で飼われており、鳴鼓小の人気者でした。生き物委員会の子供たちが毎日、大切にお世話してくれていたのですが、昨年から少し元気がなくなり、卵を産まなくなっていたので心配していました。本当に残念です。

生き物委員会の子供たちが、全校へお祈りを呼びかけたり、ピーちゃんのためのメッセージを集めたりして、お別れを惜しみました。卒業生からもメッセージが届くなど、ピーちゃんが、長年この鳴鼓小で大切にされていたことがわかります。

二月の主な行事

一日（火）　委員会活動
四日（金）　チャレンジ集会
七日～十三日　メディアＯＦＦ週間・家族十分間読書
八日（火）　代表委員会
九日（水）　新入学児童向け学用品販売
十四日（月）　表彰（こども県展他）
十五日～十七日　校内図工展
二十二日（火）　クラブ見学
二十五日（水）　送別集会・集団下校（六校時カット）

※校内図工展は、保護者の皆様への公開はありません。